



◆子どもたちの成長に向けて◆

早いもので新学期がスタートして一か月が経とうとしています。4月当初と比べ、子どもたちも新しい学年での生活に慣れ、ゆとりも感じられるようになり、どの学年も日々成長している様子が伺えます。子どもたちは学校で様々な姿を見せます。成功することもあるれば失敗してしまこともあります。失敗したときには温かく見守り、支え、次をめざせるように支援できる教職員でありたいと考えています。

教育活動は、今日子どもたちに働きかけたことが、すぐに効果として現れるものではありません。子どもたちにじっくりと向き合い、一人ひとりの子どもに応じた手だてや言葉かけを積み重ねていくうちに、子どもたちの変容が見られるものです。私たち教職員は、子どもたちを最優先に考え、誠実に粘り強く指導にあたります。また、本年も保護者・地域の皆様の大きな支えをいただき、力を結集し教育活動を推進して参ります。

これまではコロナでできないことが多くて悩んだ3年間でしたが、今年度はできるようになることが増えると考えています。

多くの経験を通じて、一回りも二回りも成長してくれることを期待しています。



学校教育目標

「自ら学びの力を高め、人間性豊かに生きる児童の育成」

～五つの気があふれる西小～

重点目標 子どもたちも教職員も元気な学校

チャレンジ目標 「よりよく話す・聞く」「だれにでもあいさつ」「楽しく体を動かす」ことに自分から挑戦する元気な田布施西小をめざそう

児童が考えたチャレンジ目標が決定しました。学校教育目標の具現化に向け、教職員や保護者、地域の皆様と共有し、力を合わせて行きたいと思えます。ご協力をお願いいたします。

◆むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかく、～◆

これは、井上ひさしさんの言葉です。子どもたちや教職員に何かを説明したり教えたりしようとするとき、何ともこれが難しいことがあります。しかし、子どもたちの学びの場面では、最も必要とされていることではないかと感じています。「むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかく、ふかいことをおもしろく、おもしろいことをまじめに、まじめなことをゆかいに、そしてゆかいなことはあくまでゆかいに」私も、そんな言葉の使い手に少しでも近づきたいと思えます。